

令和6年度 事業実施報告書

一般社団法人 北陸地域づくり協会

事業名 (個別メニュー)	事業名 (大項目)	事業経緯	継続	実施体制	協賛	担当所属
河川防災フォーラム2025	専門的知識・技術の普及・伝承に関する事業	分類名 (中項目)	講習・講座・セミナー事業	事業区分	講座、セミナー、育成	長岡支所

1. 事業目的

本事業は、行政機関や学術・民間の有識者の講演等により、北陸地域における河川整備の方向性やそのあり方について、最新の河川災害の情報も交えて考える機会を提供することを目的とする。今回は「令和6年1月能登半島地震による河川堤防の地盤液状化被害及び対策とその課題を考える」をテーマに具体的な液状化被害からその対策と課題等について議論した。

2. 事業実施体制

主催：特定非営利活動法人水環境技術研究会
協賛：(一社)北陸地域づくり協会
後援：国土交通省北陸地方整備局、新潟県

3. 事業概要

テーマ：令和6年1月能登半島地震による河川堤防の地盤液状化被害及び対策とその課題を考える

日時：令和7年2月3日(月) 13:30～17:00

会場：新潟市万代市民会館(オンライン併催)

プログラム：

講演1「能登半島地震による地盤液状化被害と課題について」

豊田 浩史(長岡技術科学大学)

講演2「県管理河川における能登半島地震の被害と復旧について」

南波 宏明(新潟県新潟地域振興局地域整備部)

講演3「中越地震及び中越沖地震の液状化対策と

能登半島地震での効果発現事例などについて」

浅野 保夫(国土交通省信濃川河川事務所)

講演4「能登半島地震による信濃川下流管内の液状化被害と対策について」

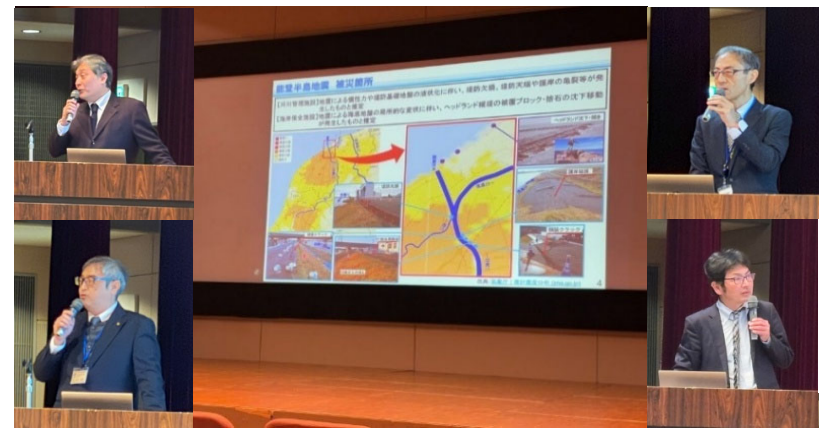
松崎 竹史(国土交通省信濃川下流河川事務所)

総合討論：コーディネーター 陸 旻皎(水環境技術研究会)

参加者：会場67名、オンライン386名 計453名

4. 事業実施により期待される効果(社会貢献度等)

本事業は平成23年7月新潟・福島豪雨災害を契機に始まり、今回で14回目を数える。河川防災に関わる今日的課題・取り組みについて、主に河川行政関係者を講師に開催してきている。
令和6年1月の能登半島地震では各地で液状化被害があり、河川堤防も大きな被害があり対策が講じられた。被害の実態と具体的な対策の考え方と対策工事は、中越・中越沖地震において実施された液状化対策の効果事例を含めて今後の河川管理における調査や研究に大いに役立つものとなった。



講演
左上：1
左下：2
右上：3
右下：4



総合討論